

令和8年5月22日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

令和7年度土木学会田中賞（作品部門）受賞！ **「TORANOMONHILLS 横断歩道橋」**

このたび、株式会社オリエンタルコンサルタンツ（代表取締役社長：野崎秀則）にて設計を行った「TORANOMONHILLS 横断歩道橋」が、公益社団法人土木学会の主催する令和7年度土木学会田中賞（作品部門）を受賞しました。

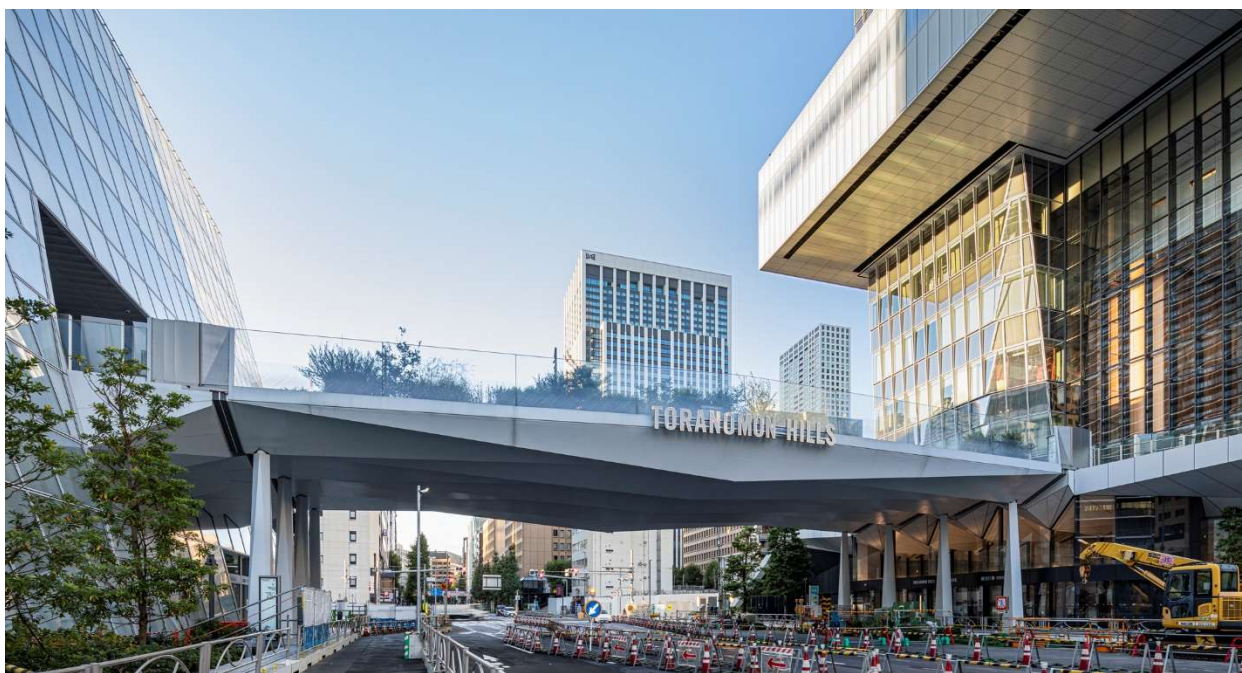
■TORANOMONHILLS 横断歩道橋

・概要：TORANOMONHILLS 横断歩道橋は、桜田通り上に架かる幅員約20m、橋長約35mの歩道橋で、デッキ下には国道1号線、その下の地下には日比谷線虎ノ門ヒルズ駅が位置している。折板形状を構造として活かした単純箱桁橋で、ステーションタワー（高層建築）とガラスロック（低層建築）という振動特性の異なる建築躯体の上に橋脚が載るため、不静定次数を低くすることで地震時の建築躯体への依存を最小限にした設計を行っている。建築物と橋梁では適用基準が違い、大地震時を想定した設計思想が異なるため、建築躯体にかかる反力を制御し、橋脚は塑性化を考慮する設計方針としている。主桁形状は、建物側の天井デザインとデッキが連続するイメージと、折による幾何剛性の向上、単純梁曲げモーメント図などから決定している。メンテナンスへの配慮（主構造の目視点検、塗り替えのしやすさ）や道路上へのパネルの落下などのリスクを避けるため、構造自体を意匠とする方針としている。桁下空間は大きく確保でき光が差し込み明るく開放的である。高欄ガラスは直接主構造に支持され、ボルトや目地がないためメンテナンス上も有利である。

以上のように、限られた敷地条件の中で、事業性から要求される高い意匠性と明るく安心感のある空間を創出しつつ、建築物と橋梁の構造的調和を実現させた本橋は、今後の都市型橋梁建設に新たな指針を示すものとして、土木学会田中賞に値するものと認められた。

- ・ 企業者：国土交通省関東地方整備局東京国道事務所
虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合
森ビル(株)
- ・ 設計者：(株)ネイ&パートナーズジャパン，(株)オリエンタルコンサルタンツ
- ・ 施工者：鹿島建設(株)，UBE マシナリー(株)，松田建設工業(株)，(株)大島造船所
東京フラッグ(株)，(株)丸栄塗装，(株)デバイス
- ・ 所在地：東京都港区虎ノ門一丁目 300 番 1 地内
- ・ 構造形式：（上部構造）鋼床版単純箱桁橋
（下部構造）柱式橋脚(鋼)
- ・ 橋長： 35.381m

■TORANOMONHILLS 横断歩道橋



＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、日原、丸山、門司